

このたびは東芝LEDトンネル照明器具をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ご採用の器具を正しく施工していただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は同種類の器具と共通となっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合が有ります。
◎照明機器の工事に関しては、電気工事士の有資格者の施工管理が義務付けられています。

| | | |
|-------------|-----------------|---------|
| 照明器具形名 (形式) | LEDN-37001-LDJ | 調光形 |
| | LEDN-37001E-LDJ | 電池内蔵調光形 |
| | LEDN-65101-LDJ | 調光形 |
| | LEDN-75101-LDJ | 調光形 |

■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ **施工上のご注意** ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

| | |
|---|---|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <p>●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。</p> <p>●電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。</p> <p>●施工時において、絶縁体にナイフ等のキズがついた状態で通電されますと、電線が焼損する原因となります。</p> <p>●電池内蔵形は、必ず通電を行ってから蓄電池コネクタを接続してください。感電・故障の原因となります。</p> | <p>●アース工事は電気設備技術基準に従い確実にこなしてください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 (第三種接地工事)</p> <p>●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災等の原因となります。</p> <p>●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。</p> <p>●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。</p> <p>●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。</p> |
| <p>●照明カバーを開ける際は、防水コネクタを緩めて外気を入れてください。(器具内の内圧により照明カバーが開きにくい)絶対に照明カバーをドライバー等で無理に開けないでください。破損等の原因となります。また、緩めた防水コネクタの締め付けを忘れないでください。浸水・感電の原因となります。</p> | <p>●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。</p> <p>●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。</p> <p>●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。</p> |
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。</p> | |
| <p>●周囲温度は、-10℃~40℃以外では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。</p> | <p>●器具の取付には方向性があります。取扱説明書に従って行ってください。指定以外の取付を行うと水、水気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。</p> |

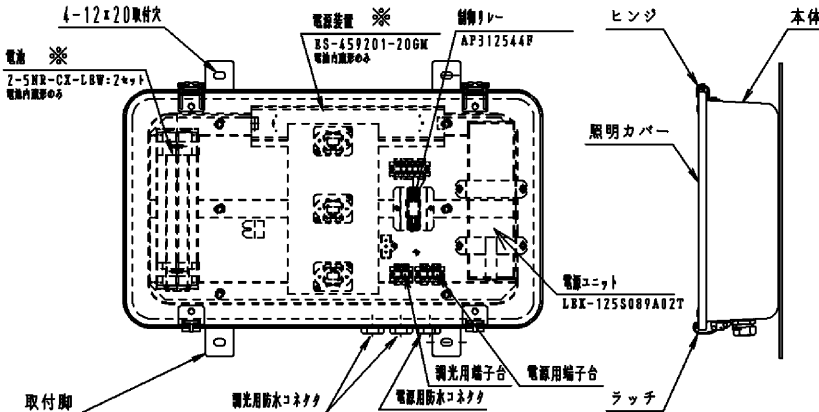
●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

■お客様へ **使用上のご注意**

| | |
|--|---|
| <p>⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p> | |
| <p>●お手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災の原因となります。</p> <p>●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。</p> | |
| <p>⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。</p> | |
| <p>●点灯中及び消灯直後は器具が高熱となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。</p> | <p>●器具を掃除する際は器具内外面の汚れは、柔らかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。器具内のソケットや端子盤などの電気部品に水滴がつかないように十分注意してください。</p> <p>●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷付けたり、腐食の原因となります。</p> <p>●器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電等の原因となります。</p> <p>●点検などを実施する場合は、必ず蓄電池のコネクタを外してください。感電・故障の原因となります。</p> <p>●電源装置の二次側は直流電圧なので十分注意してください。 (009124) A</p> |
| <p>●長期間ご使用にならない場合、電池内蔵形は、非常点灯終了後に蓄電池のコネクタをはずしてください。</p> <p>●電池内蔵形の蓄電池の寿命は、使用環境により4~6年です。必ず定期的に交換してください。感電・故障の原因となります。</p> <p>●非常点灯時に調光制御を行わないでください。</p> <p>●非常点灯時には調光制御信号がOFFとなるようにしてください。</p> <p>●非常点灯は、連続48時間以上の充電が必要です。</p> | <p>●器具を掃除する際は器具内外面の汚れは、柔らかい布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。器具内のソケットや端子盤などの電気部品に水滴がつかないように十分注意してください。</p> <p>●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷付けたり、腐食の原因となります。</p> <p>●器具を洗剤・薬品などで拭いたり殺虫剤をかけないでください。器具の破損、落下、感電等の原因となります。</p> <p>●点検などを実施する場合は、必ず蓄電池のコネクタを外してください。感電・故障の原因となります。</p> <p>●電源装置の二次側は直流電圧なので十分注意してください。 (009124) A</p> |

各部名称

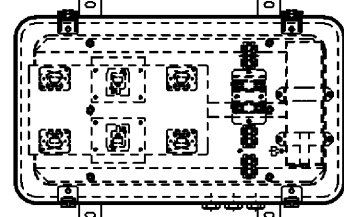
LEDN-37001-LDJ
LEDN-37001E-LDJ 姿図



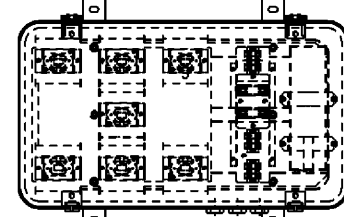
※印は電池内蔵のみです。

この器具は2段調光 (100%-50%) のみです。
3段調光 (100%-50%-25%) はできません。

LEDN-65101-LDJ 姿図



LEDN-75101-LDJ 姿図



この器具は3段調光 (100%-50%-25%)
ができます。

器具の取り付けかた

- アンカーボルトにより取り付けの場合は、ボルトサイズM10を取り付け面に施工してください。
取り付け面に取り付け用架台を設けて器具を施工する場合は、器具取り付け面にM10ネジを施工してください。
 - 器具を梱包箱より取り出し、アンカーボルト又は、取り付け用架台に設置してください。
アンカーボルトの場合は、M10ナット、座金、パネ座金により締め上げてください。
取り付け用架台を使用の場合は、適合ボルト (M10×4本) でゆるみのないように平座金、パネ座金を入れて締め付けてください。
- 側壁取り付け器具の場合は、必ずコネクターが下側になるよう、施工してください。



取り付け



器具の取り付け方法

- ラッチをはずして、照明カバーを開けてください。
照明カバーは、配線処理が終るまで開けた状態にするため、器具そばの配線ダクトにワイヤー等で固定してください。
- コネクターのリング部をはずし、中のパッキンを取り出して電源線と調光線 (入り側、送り側) に通してください。
- 電源線を器具内に挿入後、電源線のたるみ具合を調整し、コネクターリングをコネクター本体にねじ込み電源線を固定してください。適合電源線の太さは、φ10.6~12.0です。
- 電源線の先端を皮剥き処理し、電源3本を出し幹線・共通線を端子台の黒色と白色線の端子へ、アース線は、端子台の緑色電線の端子へ結線してください。
- 調光線入り側、送り側の先端を皮剥き処理し、調光用端子台の各端子へ結線してください。

端子盤の結線が不完全な場合には、
絶縁不良による発熱、火災の原因と
なります。

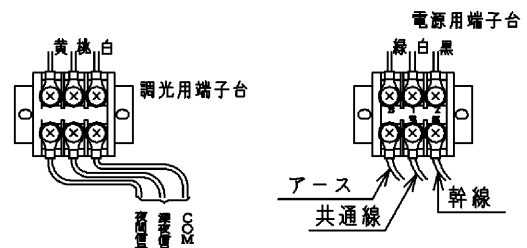
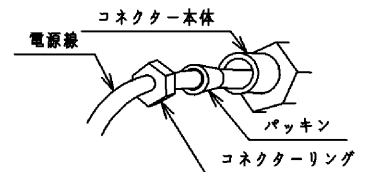


配線工事

アース線の結線が不完全な場合には、
感電の原因となります。



アース工事



- 電池コネクターの接続 (電池内蔵形のみ) : 出荷時、器具へ組み込んである電池のコネクターは、外してあります。
通电後、電池コネクター2ヶ所を接続してください。
電源装置のオスコネクターを電池のメスコネクターへ「カチッ」と音がする
(図2の電池コネクター固定状態) まで差し込み、接続してください。

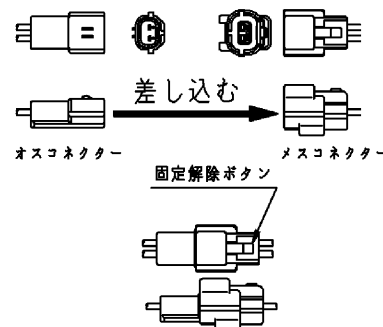
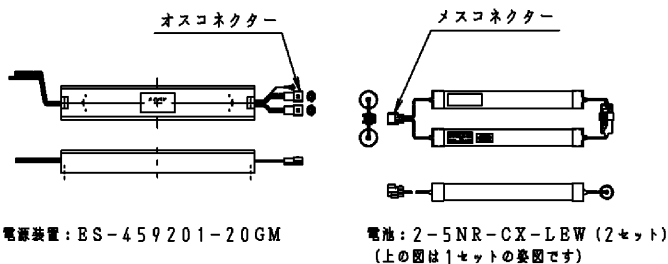


図2 電池コネクター固定状態

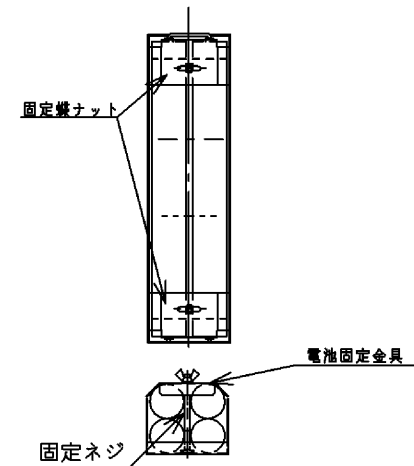
- 照明カバーを閉め、ラッチを掛けてください。

(009124) A

■電池交換方法（電池内蔵形のみ）

電池交換の際は下記の手順にて作業してください。

- 1 電池交換の際は、必ず電源スイッチを切り、非常点灯終了後に作業してください。
消灯直後は器具が高温となっていますので、しばらく（5分～10分程度）時間をおいてから作業を行ってください。
出来れば器具を取付架合から取り外してガラス側を上向き水平のほうが、電池交換作業が行ない易いです。
- 2 ラッチを外して、照明カバーを開けてください。
照明カバーを開ける際は、必ず照明カバーを支える人を1人付けてから次の作業を行ってください。
- 3 電池コネクター2ヶ所を外してください。
メスコネクターの固定解除ボタンを押しながら、電池コネクターを外してください。
（固定解除ボタンは、図2参照）
注）絶対に電池コネクターの口出し線を持って外さないでください。破損の原因となります。
- 4 電池固定金具の固定蝶ナットとバネ座金、座金2ヶ所（右図参照）を外し、電池固定金具を外してください。外した蝶ナットとバネ座金、座金はなくさないようご注意ください。
- 5 電池交換をしてください。
（交換用電池が使用している電池と同じであることを確認のうえ作業してください。）
- 6 電池固定金具を取り付け、固定蝶ナット、バネ座、座金2ヶ所で締め付けて電池を固定してください。
固定蝶ナットを締めつける際ネジが噛まない様に注意ください。
蝶ナットを締め付け作業中ネジが硬く（締め悪くなった）場合は、一度蝶ナットを緩めて固定ネジ取り付け用ネジをダイスでサライ加工後、潤滑油をネジ部に付けてから締め付けてください。
- 7 電池コネクター2ヶ所を接続してください。接続方法は「器具の取り付け方法6」を参照ください。
- 8 照明カバーを閉め、ラッチを掛けてください。



■お手入れのしかた

- 1 器具お手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。消灯直後は器具が高温となっていますので、しばらく（20～30分程度）時間をおいてから行ってください。
- 2 器具の外側やガラスの外側の汚れは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭きとってください。
- 3 ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。器具内への浸水や器具の破損の原因となります。



■初期照度補正機能

- 定格出力の約80%の光束を保つよう、投入ワットを制御しています。

■電気特性

| 器具形名 | 器具定格消費電力 (W) | 定格電源電圧 (V) | 定格入力電流 (A) |
|-----------------|--------------|------------|------------|
| LEDN-37001-LDJ | 43 | AC 200 | 0.22 |
| | | AC 240 | 0.19 |
| LEDN-37001E-LDJ | 47 | AC 200 | 0.24 |
| | | AC 240 | 0.21 |
| LEDN-65101-LDJ | 82 | AC 200 | 0.41 |
| | | AC 240 | 0.34 |
| LEDN-75101-LDJ | 95 | AC 200 | 0.48 |
| | | AC 240 | 0.39 |

*1 初期照度補正機能により初期の消費電力は定格の約80%で点灯します。

(009124) A

■使用上のご注意

- LED素子にはバラツキがあり、同一の形名の器具においても光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 安全上LED光源を直視しないでください。
- LEDモジュール単体の交換は出来ませんので、分解しないで下さい。

■保守・点検のために

(施工記録) ランプ交換など保守のために、下表内容を確認の上、適切な保守用品をお求めください。

| | |
|---------|----------|
| 器具品番 | 保守作業上の注記 |
| 取付年月日 | |
| 使用ランプ品番 | |
| 使用安定器品番 | |

修理・お取り扱いはお申し込みに行われていない場合は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料:無料)
 受付時間:365日 9:00~20:00
 携帯電話・PHSなど 046-861-6485 (通話料:有料)
 FAX 0570-000-661 (通話料:有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
 Use only in Japan

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- ・セード・グローブ・リモコン送信器は保証対象とし、ランプ・点灯管・電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店（工事店）までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または、東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取付場所移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工場の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用修理部品の保有期間

- ・弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外照明部 屋外照明担当 〒237-8510 神奈川県横浜須賀町1-201-1 TEL (046) 862-2098
 FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(009124) A